



「篠田堀親水緑道」は、住民の自然への回帰の要望が高まる中、流域の下水道整備を契機に、雑排水の流れ込みにより環境が悪化していた水路を再生させたものである。

水路には江戸川から流水を取り入れ、石積みの護岸を整備するとともに河床には土を用い、自然の浄化作用が働き、昆虫や魚類などの生息環境にも有効な水生植物をはじめとした植栽を施している。さらに、既存の樹木を極力残し、緑豊かな環境づくりを行っている。

また、緑道には十体の彫刻を配置してあたたかみのある散策路を演出しているほか、広場にモニュメントの設置を行い、地域のランドマーク的な役割をもたせている。施行後は、季節ごとに移り変わる自然のもとに人々が散策を楽しんでいる。

## DATA・BOARD⑩

- ①東京都江戸川区下篠崎町～南篠崎5丁目
- ②延長：1,600m、緑道幅員：5～10.5m、水路幅員：1.8～4m
- ③広場、緑道、水路、彫刻、石碑、モニュメント
- ④植栽、脱色アスファルト（玉砂利）、岩瀬砂舗装ほか

